

鹿児島産業保健推進センター及び地域産業保健センターの

小規模事業場の産業保健活動活性化への支援策に関する調査研究

主任研究者 鹿児島産業保健推進センター前所長 松下 敏夫
共同研究者 鹿児島産業保健推進センター 所長 川元 孝久
共同研究者 同センター産業保健特別相談員 岡村 俊彦・他

I はじめに

鹿児島県内の小規模事業場における産業保健活動の実態を把握して、鹿児島産業保健推進センターおよび県内の各地域産業保健センターが、それらの事業場内での産業保健活動の活性化を支援するために、効果的な方策を検討する基礎的な資料収集を行った。

II 調査方法および期間

1. 調査方法：

調査対象は 30～50 人未満の小規模事業場(1,046)で、調査票を郵送して、自己記入方式による調査を行った。有効回答率は 46.7%の 486 件であった。

しかしながら、名簿作成時点と調査時点の时期的な差から、1～9 人規模の事業場へ 20 件(4.1%)、また 50 人以上の事業場へ 73 件(15.0%)と事業規模が変わっていた。(無回答 1 件)

そこで、今回は 10 人～49 人規模の事業場 392 件を対象とした。

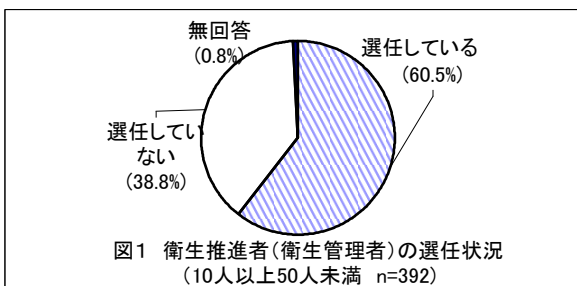
2. 調査期間：

平成 16 年 5 月～17 年 3 月の期間に実施した。

III 成績

1. 小規模事業場における産業保健活動の実態調査：

回答した小規模事業場における安全衛生組織の設置状況は 37.5%で、衛生推進者の選任は 60.5%であった(図-1)。

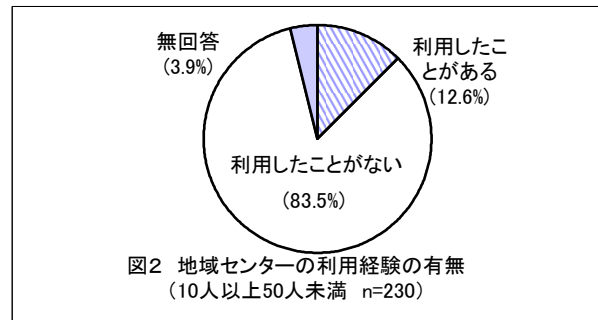


定期健康診断の実施率は 92%であったけれども、異常所見者への保健指導では、「別に誰にも行っていない」が 39.9%で、最も多かった。

それでも、今後産業保健活動で重点的に実施したいのは、健診結果に対する事後措置が 42.6%と最も多く、次いで健康指導・労働衛生教育が 37.0%、喫煙対策・快適職場づくりが 32.1%、生活習慣病対策が 28.1%の順であった。しかしながら、過重労働やメンタルヘルス対策は比較的少なく、戸惑いなのか、それとも自分の事業場は大丈夫と思っているのか。

2. 小規模事業場における産業保健支援サービスに対する利用状況等の調査：

地域産業保健センターの認知度は 57.6%で、利用状況は、「利用した」がわずかに 12.6%であった(図-2)。



また、利用したサービス内容では「事業場の個別訪問による指導」が 51.7%で最も多く、利用したサービスの「満足度」には不満を認めなかった(表-1、表-2)。

表－1 地域センターの利用サービス内容

(10人以上 50人未満、複数回答 n=29)

利用サービス	事業場数(%)	
健康相談の窓口利用	4	(13.8)
事業場への個別訪問による指導	15	(51.7)
産業保健情報の入手利用	2	(6.9)
健康講話や講演会・講習会など	8	(27.6)
図書・ビデオなどの利用	5	(17.2)
その他	1	(3.4)

表－2 地域センター利用サービスの満足度

(10人以上 50人未満 n=29)

満足度	事業場数(%)	
たいへん役に立った	12	(41.4)
普通	15	(51.7)
どちらともいえない	1	(3.4)
不満が残った	0	(0.0)
大変不満だった	0	(0.0)
無回答	1	(3.4)

そして、未利用事業場については、今後も「利用するつもりがない」が24.0%で、その理由は、「このようなサービスを受ける必要性を感じない」が44.0%で最も多く、「仕事が忙しくて利用する暇がない」が20.2%、「地域産業保健センターのサービス内容がよく分からない」が17.9%の順であった。

「登録事業場」については、「既に参加」していると答えた事業場は僅か7.8%と少なかった。

一方、鹿児島産業保健推進センターについては、その認知度が50.0%で、サービスの利用状況では「利用あり」が7.8%と少なかったが、利用したサービス内容では「図書・ビデオ等の貸出し・閲覧」が62.5%で最も多く、利用したサービス内容の「満足度」には否定的評価を全く認めなかった。

3. 鹿児島産業保健推進センターと県内の各地域産業保健センターとの連携の現況調査：

当推進センターと県内の7地域産業保健センターの相互間における、連携の現状と問題点を把握するために、平成14年度（以下：前回調査という）と同じ調査を実施して、地域産業保健センターについ

て若干の有益な情報を得ることが出来た。

- ① 広報啓発活動では、「D：やや劣る」および「E：要改善」が前回調査より改善されていたが、「新聞・テレビなどマスコミに対するPRに関する連携」は今後大いに改善を必要とした。
- ② 研修活動では、前回同様、概ね良好であった。
- ③ 相談活動では、始良・大口伊佐地域産業保健センターが全項目で「D評価」で、利用者のニーズ把握とそのフィードバックでの連携も低い評価のようであった。
- ④ 産業保健情報の入手・活用では、「認定産業医名簿に関する協力・連携」は「A：大変良好」、「B：良好」の評価であったが、「健康診断を実施した小規模事業場名簿での連携」は大いに改善を必要とした。
- ⑤ 調査研究活動では概ね比較的良好のようであったが、センター間の評価に差を認めた。
- ⑥ 当推進センターと地域産業保健センターとの連携体制は、概ね比較的良好とされたが、地域産業保健センターによっては評価が高くないところもあった。

IV おわりに

県内の小規模事業場における産業保健活動の実態および鹿児島産業保健推進センターと各地域産業保健センターとの連携の現況を検討した。これらを踏まえ、小規模事業場における産業保健活動の活性化の支援方策に寄与したい。